

面接で聞かれるところ

- ・一緒に働きたいかどうか。
- ・エンジニアになりたい覚悟はあるか？
- ・期就業してくれるか？
- ・条件のミスマッチがないか？

面接の心得

- ・結論→具体例
- ・反復練習。何度も言う。
- ・模擬面接。回答の質を上げる。
- ・面接担当と面接
- ・企業を知る。
- ・興味、働くイメージ沸いているか。
- ・ホームページを読み込む。

面接項目（解答は各2～3分）

①自己紹介 1分

岩瀬俊汰と申します。地元の高校を卒業後、1年間の浪人生活を経て日本大学へ進学しました。大学では理工学部物理学科に所属し、物理分野全般を学びました。

卒業後、株式会社UTエიმへ入社し半導体メーカーに派遣され、主に半導体生産工場の生産管理を任されておりました。その後エンジニアを目指し、アデコ株式会社に入社しました。

入社後、大手自動車メーカーで一般事務をしながら、ローコードツールを用いて課内向けの承認閲覧アプリの作成も行っております。

以上が私の経歴になります。本日は貴重な時間を頂きまして有難うございます。

丁寧でとても良いです！！

②転職理由

私がエンジニアになりたい理由は、仕事でExcelのマクロや業務用のツールに触れていく中で、システムへの憧れや自分で作成していきたいという気持ちが強くなったからです。

ボタン1つで自動生成されるマクロや、現状をリアルタイムで把握できる業務ツールなどにはどのようなロジックが組み込まれていてどのように開発されたのか興味を持ち、

自分でも作成してみたいという気持ちになりエンジニアを志しました。

今の会社では私の確認不足で、採用時に認識の齟齬がありエンジニアの職に就くことが出来ず今回、転職を考えました。

（記載いただいている内容は転職理由というより「エンジニアになりたい理由」になっており、捉え方によってはQAズレになってしまいます。

「転職理由」≒「エンジニアになりたい理由」だと思いますが、最初に「エンジニアとして働きたいからです。」という一言があったほうが転職理由の回答としては、理解しやすい火と思います！）

point

元々エンジニア採用で採用されたが、採用時の認識の齟齬でエンジニア職ない。

齟齬？→エンジニア職で入社したから案件あると認識していた。実際は勤務地によって案件なかった。

③志望動機

④キャリアパス

私のエンジニアとしての目標は、上流から下流までこなせるフルスタックエンジニアです。

私は、アイデアを考え、それを具体的な形にするプロセスが非常に好きです。そのため、幅広い技術スキルを持つフルスタックエンジニアを目指しています。

それを実現する為には、1つの専門を極めるだけでなく、複数の言語を極めていき少しずつ工程を挙げていき、1人で開発出来るレベルまで上げていきます。

（「キャリアプランを教えてください」と言われた際には時系列に沿ってプランを伝えるのが適切かと思っています。

「長期的な目標は～～です。なぜなら～～だからです。そのために、中期的には～～～をになり、短期的には～～～をしていきます。」

というような形で全て話してしまって大丈夫です）

point

- ・長期な理想10年後 なんでも屋さん フルスタックエンジニア

（フルスタックのイメージを具体的に伝えられたほうが良いです！上流から下流まで一貫してできる、DB設計もできるなど）

なぜ？ストーリー的な。

（数学のように、点ではなく全体を見れたほうが楽しいという理由も是非お伝え頂きたいです）

- ・中期な理想5年後 専門 一人で出来る。1~2の言語完璧。マネジメントも。工程上げてく。

（何を一人でできるようになっているのか、具体的に伝えられたほうが良いです！開発工程でしょうか？）

- ・短期な理想年後 見習い テスト、保守運用。

☆任された仕事はもちろんのこと、与えられたこと以外でも頑張る。フォロー体制をうまく使う。自己学習。

- ・この会社でなぜできるのか？ → 下流から上流まで幅広く扱っている為。フォロー体制○。資格取得制度○。

⑤成功体験

現職での承認回覧アプリの開発中に、更新機能の実装でエラーが発生しました。エラーの原因が特定できなかったため、まずログを確認しながら、コードを一行ずつ丁寧に調査しました。

「しかし」調査の結果、削除→登録の流れで実装していた部分に問題があることがわかりました。試行錯誤の末、登録→削除の順に変更することで、問題を解決できました。

「コードの内容に問題があると思い込んでいましたが、実際は指示だしの順序に問題がありました。」（今回の件で【思い込み】は何で、【多角的な視点で見た結果】として何に気付いたのかを明確に伝えられると尚良いです！）

この経験から、自分の思い込みに頼らず、多角的な視点で問題に取り組むことの重要性を学びました。

また、一つの方法で解決できなくても、別の方法を試みることの大切さを身をもって経験しました。結果として、開発はスケジュール通り進行し、上長からも評価を受けました。この経験は、今後の開発でも活かしていきたいと考えています。

point

- ・再現性があるかどうか
- ・何を学んだか？
- ・入社後に生かせるか？

⑥失敗（自己改善力があるかどうか。）

【結論】

現職での承認アプリの開発中に、まずは完成を優先して開発を進めてしまいました。

（【失敗＝困りごと】を最初に伝えられたほうが結論ファーストになり分かりやすいです。）

「現職での承認アプリの開発中に、まずは完成を優先して開発を進めてしまいました。その結果、変数名やデータベースの名前を自分だけが分かるものにしてしまい、他のメンバーがコードを理解しにくくなる状況を作り出してしまいました。」

【背景】

その背景として、

（その結果、）上長との事前のすり合わせや設計を十分に行わず、コーディングも自分が理解できれば良いという意識で進めてしまいました。

（例えば、変数名やデータベースの名前を自分だけが分かるものにしてしまい、他のメンバーがコードを理解しにくくなる状況を作り出してしまいました。）

また、チームが増える際には、大規模なコード修正が必要になり、プロジェクト全体の進行に影響を与えてしまいました。

【気付き】

途中で参考書を読み、コードの可読性や命名規則の重要性、そしてアプリのメンテナンス性の向上がどれほど大切かを学びました。

これにより、事前の設計や上長とのコミュニケーションがいかに重要であることを反省しました。

（参考書名『リーダブルコード』も伝えてしまってもいいかと思います！）

【取り組み】

その後は、命名規則やコードの可読性を意識し、定期的に上長とすり合わせを行うことで、プロジェクトの進行がスムーズになり、メンテナンス性も大幅に向上しました。

この経験から、今後も設計段階での十分なすり合わせを大切にしていきたいと考えています。

point

- ・何か改善されたか？ 具体例

⑦経歴(質問はないと思われる。ちよくちよく聞かれる。)

地元の普通科の高校を卒業後、1年間の浪人生活を経て日本大学へ入学しました。

自分の適性や将来の選択肢を広げるため、少しでも視野を広げるべく浪人することを決断しました。もともと文系でしたが数学に対する興味が強く、理系に進むことを選択しました。

浪人時代には、一から数学、物理、英語を集中して学び、特に論理的思考力や問題解決能力が身に付きました。

予備校を卒業後、理工学部物理学科へ入り、物理学全般を学びました。

point

- ・最終学歴の学校の志望理由。何を学んできたか。

一年間べんきょしなさい。→何が好きか。

- ・会社 人との出会いで決めた。エンジニアに転職したいから。転職した

⑧自己研鑽

現在、Javaとspringフレームワークを使用してアプリの開発とUdemyを利用してITパスポートの学習、またReactの学習も進めております。

javaのアプリ開発は平均1日1時間程度、ITパスポートは30分程度、reactは始めたばかりです。

point

- ・何をしているのか？

- ・週にどれくらいしているのか。

⑨条件(内定条件、勤務地、業務内容が聞かれる。)

業務内容は？

→理想は開発工程です。ですが、未経験ということもあり、最初は下流工程からキャリアを積みたいと考えております。夜勤は厳しいです。(←どういう言い回しが適切？)

勤務地は？どれくらいの勤務時間が許容？

→90分以内を想定しております。

→名古屋市～豊橋市を想定しております。

年収はどれくらい？

→300万以上を想定しております。

point

- ・出来るだけ下限を伝える。

- ・向上心を伝える。

⑩逆質問

配属先の候補など、名古屋だとどのくらいあるのかなど。

どのようなキャリアプランがあるのか。(←聞いても良い？)

(ジャパニマス、テクノプロエンジニアリング、アウトソーシングは一回面接)

①スーツは？スーツで受ける。ジャケットも。

- ②経歴は自己紹介と同じ → 経歴の項目は深堀に対応する形
- ③面接で配属先の候補をそれとなく聞いてみる
- ④ほかにも受けているところあるの？正直に伝える。
なんで受けているのですか？いろいろ経験出来る。教育が受けられる。
- ⑥ボーナスは聞いてよい？（内定後に。）
- ⑦昇給出来るタイミング（面接ではなくて、内定後に。）